



学校だより

令和3年度 第3号
令和3年 5月19日
府中市立南町小学校
校長 島田 文江

一人一人が自分の命を守る行動を心がけよう

副校長 山田 一樹

緊急事態宣言の延長に伴い、未だコロナウイルス感染防止に気を付けて生活をしなければならない日々が続いておりますが、南町小学校の児童は高学年の児童を中心に自分たちができることを考え、協力し合いながら生活を送っております。新一年生も、学校生活にだいたい慣れ元気に活動しております。さて、先日5月10日(月)に避難訓練が行われました。本来ならば、水害訓練として徒歩によりはげ上に避難するという活動を予定しておりました。しかし、緊急事態宣言に伴い中止といたしました。そこで、市の防災危機管理課職員 山田 拓真さんに来校いただき、児童に向け講話をしていただきました。

講話では、令和元年10月に起きた台風19号の被害や南町小学校付近のハザードマップを使用し、南町小学校や自分の自宅が想定外の大雨になったときにどのくらいの水位まで水没してしまうのかなど、分かりやすくお話していただきました。そのお話の中で、子供たちに3つのお願いをされました。

3つのお願い

- ① 避難できる場所をあらかじめ探しておく
自分のいる場所から一番近い避難場所を探す。(南町小学校からは第四中学校、片町文化センターが一番近い避難所になります。)
- ② 避難時の持ち物について
着替えやタオル、軽食や飲み物等の準備をしておくことや、避難時は濡れるので、体調を崩しやすい。長靴だと水が入ってしまい、歩きにくくなるため、スニーカー等で避難するとよい。
- ③ 情報を受け取る手段の確認について
様々な情報を受け取ることができるが、テレビのdボタンの活用等が有効

登録をお願いします!

自主避難所の開設情報はここから

避難勧告などの発令を待たずに開設される自主避難所の情報をメールやアプリで受け取ることができます。ご自身のスマートフォンや携帯電話に登録することが難しい方は、ご家族に登録してもらい、緊急時に連絡してもらうようにしましょう。

- 府中市メール配信サービス
- ヤフー防災アプリ

Android向け iPhone向け



※山田さんのお話を真剣に聞いていました。

自助・共助 避難は徒歩が基本

風水害時は徒歩での避難が基本です。徒歩での避難が難しい場合には交通機関が動いているうちに避難させる特別な場合を除いて、車の避難は避けましょう。

レインコートのフードをかぶっても視界が確保できるようキャップを被る

両手がふさがらないリュックサックで移動。防水は必須。

レインコートは上下が分かれるセパレートタイプ

長距離移動ができるよう歩きやすいスニーカー等

※市から配布されている「自主防災ふちゅう」vol.4, vol.5より

最後に、次のように話されていました。「台風の避難は地震と違って、あらかじめ準備ができるので、3つのお願いを基に事前に確認しておくことが大事」だそうです。

昨年度、本校で行われた総合防災訓練の経験もあり、子供たちは山田さんのお話を聞きながらよく聞いていました。ご家庭においても、市のホームページ等をご覧いただき、ぜひ、ご家族でどこに避難するのかどんな準備をしておいたらよいのか話し合ったり、避難場所まで歩いて行ってみたりできるとよいかと思ひます。そして、一人一人ができることを考え(地域の防災訓練に参加する等)自分の命を守る行動を心がけていきましょう。

※「東京マイタイムライン」の予備が学校にありますので、必要な際はお声かけください。

東京都防災ホームページからもご覧いただけます。



※「自主防災ふちゅう」は市のホームページよりご覧いただけますので、ご活用ください。



1年生の様子

(山田 繭子)

入学式から約2か月が経ちました。「おはようございます。」の明るい元気な挨拶が教室に響いています。4月は、登校するとランドセルから教科書を出したり、宿題を提出したりするのに手間取っていた1年生ですが、今ではしっかりとスムーズに朝の支度を自分でできるようになりました。6年生や担任に手伝ってもらいながら付けていた名札も、1人で付けたり外したりできるようになりました。

学校生活の中にある、1年生にとっての“はじめて”のことを、緊張しながらも意欲的に取り組む1年生の様子が見られます。国語の学習で名刺を作り、クラスの友達と自己紹介をしながら名刺交換をしました。友達の名前を少しずつ覚え、休み時間に一緒に遊ぶ姿が見られるようになってきました。給食当番の仕事が一巡りしました。上手によそったり、運んだりする仕事もしっかりできています。毎日、楽しみにしている給食ですが、その時間にお友達と話することはできません。しかし、黙食のきまりをしっかりと守る1年生の姿は、とても立派だと感じました。

2年生に学校の中を案内してもらって、学校に様々な教室があることを知った1年生。これから行動範囲が広がって、もっと学校に親しめるようになりそうです。

元気いっぱい、やる気いっぱいの1年生が、様々な活動を通して力を付けていけるように、学校の教職員みんなで支えていきます。



2年生の様子

(畠田 千津子)

2年生になって、すっかり学校にも慣れて、少しずつお兄さん、お姉さんぶりを発揮して、元気いっぱいに楽しく学校生活を送っています。

4月は、早速1年生のお兄さん、お姉さんとして、学校案内をしました。一人一人が、学校の中で教えてあげたい場所を3つずつ考えて、互いに練習をして、1年生に一生懸命お話をしました。校内の歩き方も気を付けて、緊張しながらも、優しく接する姿があちこちに見られました。1年生から、お礼のカードをもらって、とっても嬉しい満足した顔が見られました。

4月末には、校庭に本物の消防自動車と消防士さんが来校し、「はたらく消防の写生会」に取り組みました。消防自動車をよく見てのびのびと描く様子は、集中して楽しそうでした。消防自動車の中に入っているものも紹介してください、放水する仕組みが分かりました。代表児童6名の作品が府中市立美術館に飾られます。

連休明けは、生活科で「ぐんぐんそだて わたしの野さい」学習が始まりました。

自分用にミニトマト、学校の畑には、きゅうり、ピーマン、なすの苗を植えました。

また、近隣の朝倉さんの畑をお借りして、サツマイモも育てていきます。

先日、広い畑の畝に、一人3本ずつ、穴を掘って、優しく土のお布団をかぶせるように、苗を植えることができました。秋には、焼いもパーティーをする予定です。野菜と共に、2年生も学んだことをぐんぐん吸収して、大きく育ってほしいです。



仲よし学級の様子

(山村 淑江)

令和3年度の仲よし学級は、かわいい1年生3名が入り、1年生から6年生まで合わせて24名の子供たちが在籍しています。少人数の集団の中で、ゆっくりと学習することで頑張れる・力を発揮できる子供たちが通います。担任4名、講師2名、補助員延べ4名が、子供たちの指導・支援を行っています。学習に内容により、全員で学習したり、組やグループに分かれて学習したりしています。

仲よし学級では、「生活単元学習」という学習があります。将来自立するために必要な力を身に付けることを狙いとして、体のこと・自然のこと・社会のことなどを学習しています。食についての学習も大切にしており、今年度も畑で夏野菜を育てています。雑草を取り、土を柔らかくして肥料を混ぜ、畝を作る。みんな子供たちが力を合わせてやりました。雑草取りをしていると、ミミズを見付けました。「ミミズは、よい土にしてくれるんだよ。」と、新しい発見がありました。雑草の根っこの長さにびっくりしたり、大きい雑草をどうやったら取れるか考えいろいろ試してみたり、すべてが良い学びになっています。今年育てる野菜は、みんなで相談して決めました。枝豆、ミニトマト、ゴーヤ、キュウリ、メロン、謎の野菜(実るまでのお楽しみ)を育てることになりました。夏には、たくさん収穫できるように、みんなで力を合わせて育てていきます。



体力向上について

(体力向上部)

子供たちの体力向上を目指し、様々な取組や活動を行っています。

昨年度までに引き続き、「休み時間は外で遊ぶこと」を奨励していきたいと思います。運動委員会と連携した、「運動委員と遊ぼうキャンペーン」を企画していきたいと思います。

体育の授業では、昨年度に地域拠点校として研究した「コーディネーショントレーニング」を準備運動に取り入れたり、運動量の確保を意識した学習を展開していったりと工夫をしていこうと思います。

体力テストの結果を踏まえた、授業も意識しています。昨年度の体力テストでソフトボール投げの平均値が全国平均値を下回るという現実がありました。そのため、今年度は「ジャイアンツアカデミー」に応募し、「投げる」という動きを改めて理解する機会を設けました。

コロナウイルスの感染予防の観点から、できる運動が限られています。このような状況でも、子供たちが体を動かすことで笑顔になれるような方法を考えていきたいと思います。



ふれあい月間に向けて

(生活指導部)

6月は『ふれあい月間』です。『ふれあい月間』は、学校が、いじめや不登校、その他の問題行動の状況について総点検を行い、問題行動等の未然防止や早期発見・早期対応につながる具体的な取組を行うことを目的としています。

南町小では、未然防止を目指し、道徳の授業や学級活動などを中心に、学校の教育活動のあらゆる場面を通して、いじめを生まない、あたたかな心あふれる学校づくりのための指導をしていきます。また、子供たち一人一人がいじめ防止の標語やスローガンを考えたり、代表委員会によるいじめ防止につながるフレンドリー集会を開いたりして(今年度は3学期に予定)、学校全体で人権やいじめに対する意識を高めていきます。一方で、早期発見や早期対応のために、生活に関するアンケートを実施して、子供たち一人一人の心の声にも耳を傾けていきます。

ぜひ、ご家庭でもお子様との会話を増やし、様子を見守って頂ければと思います。

学力の向上に向けて

(学力向上部)

南町小では、学力向上に向けた児童の取組として、普段の授業を充実させることの他にも、以下のような活動を行っています。

- ・家庭学習の充実。家庭学習スタンダードの作成。
(家庭と学校が連携し児童の実態に応じた家庭学習の充実を図る。)
- ・中学校と連携した、授業規律に関するルールの実施。

など、いずれも、児童の学習状況を把握し、児童が基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できることを目的としています。

また、昨年度に引き続き、2階オープンスペースに「東京ベーシックドリル」という、東京都教育委員会が作成した算数のプリントや漢字検定合格や語彙力の向上を目指した漢字練習プリントを常設し、児童が授業以外でも自発的に多くの問題に触れることができるような取組・整備も行っています。

さらに、家庭学習を充実させるため、各学年の児童の実態に応じた内容や分量を定期的に見直し、学年で統一した指導と個に応じた指導の両立を目指しています。学力の向上には、学校と家庭の連携も欠かせません。ご家庭でのご協力もよろしくお願いいたします。

以上のような取組を通して、子供たちが分かる喜びを実感し、学ぶことを心から楽しいと思えるような学習環境の整備に努めて参りたいと思います。

